

基礎看護学演習

[演習] 1年・2年 前後期 選択 30時間 2単位

《担当者名》明野 伸次 [akeno@hoku-iryu-u.ac.jp]

【概要】

基礎看護学演習を踏まえて、看護技術における研究論文をクリティークすることにより、看護技術の質を高めるための課題および研究方法を検討するための能力を養う。そのため、看護実践の場面における看護技術を取り上げ、その看護技術に内包される原理・原則を多面的に検討し、新たな看護技術の有効性を検証する方法について学習する。

【学修目標】

1. 看護技術をテーマとした文献をクリティークし、研究論文の論理性について説明できる。
2. 関心がある看護技術におけるこれまでの科学的根拠を整理し、看護技術の質を高めるための課題を検討できる。
3. 対象者の健康レベルや看護実践の場に応じたよりよい看護技術を開発するための課題や研究方法について考察できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1 2	看護技術をテーマとした文献の検討 (1)	・文献検索の方法と入手方法、文献の整理方法を学ぶ。 ・看護技術をテーマとした質的研究・量的研究の文献をクリティークする。	明野
3 6	看護技術をテーマとした文献の検討 (2)	・関心がある看護技術をテーマとした文献を収集しクリティークを行う。資料を内容をまとめ、プレゼンテーション・ディスカッションを行う。	明野
7 10	看護技術をテーマとした文献の検討 (3)	・関心がある看護技術における科学的根拠を整理し、その看護技術の質を高めるための課題を検討する。資料をまとめ、プレゼンテーション・ディスカッションを行う。	明野
11 14	看護技術をテーマとした文献の検討 (4)	・関心がある看護技術における研究を概観し、看護技術を開発するための課題や研究方法について考察する。資料をまとめ、プレゼンテーション・ディスカッションを行う。	明野
15	看護技術をテーマとした研究の探求	・看護技術系の学術集会に参加し、看護技術を開発するための課題や研究方法について探究する。	明野

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

プレゼンテーション（30%）、討議への参加（30%）、課題レポート（40%）を総合評価する。

【教科書】

特に指定しない。適宜資料を配布する。

【参考書】

参考文献は随時に提示する。

【学修の準備】

指定された事前学習および課題に取り組み、授業に臨む。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、看護学における高度な専門性と研究能力を修得するという看護学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。